

(お知らせ)

22.4.22
統合幕僚監部

中国海軍艦艇の動向について

4月22日(木)12時30分ごろ、海上自衛隊第11護衛隊(横須賀)所属「しらゆき」及び第5護衛隊(横須賀)所属「いかづち」が、沖縄本島の南西約130kmの海域を太平洋から東シナ海に向けて北西進する中国海軍のソブレメンヌイ級ミサイル駆逐艦2隻、ジャンウェイ級フリゲート1隻、ジャンウェイ級フリゲート2隻、キロ級潜水艦2隻、フーチン級補給艦1隻、ダーラン級潜水艦救難艦1隻及びトゥーチョン級艦隊航洋曳船1隻の合計10隻を確認した。

なお、これらの艦艇は、4月10日(土)午後8時ごろ、沖縄本島の西南西約140kmの南西諸島を東シナ海から太平洋に向けて南東進し、その後、太平洋上の海域において、艦載ヘリコプターの飛行を行う等の訓練を行っていたほか、洋上補給を行っていたことが確認されている。

フーチン級補給艦(882)



ダーラン級潜水艦救難艦(332)



トゥーチョン級艦隊航洋曳船(830)



ジャンウェイ 級フリゲート(541)



ジャンウェイ 級フリゲート(542)



ジャンウェイ 級フリゲート(522)



中国軍艦艇



ジャンウェイ 級フリゲート(552)及びフーチン級補給艦(882)



ジャンウェイ 級フリゲート(541)からZ - 9 発艦

